

平成26年度法学会第1回講演会

日本裁判所風景論

—法の歴史と文化の交錯

日時
5月15日(木)
16:10-17:40

場所
常磐松ホール
(AMC棟1階)

予約不要
学外の方も
参加できます

講師:岩谷十郎先生(慶應義塾大学法学部教授)

概要:2004年に制定され、09年より実施に移された裁判員制度は、国民と裁判所の距離を縮めたものの、依然として裁判所には近寄りがたいイメージが付きまといまいます。本講演では、現代日本人の深層に法や裁判に対するどのような感覚や観念、そして期待が存するのかを、具体的な図版を用いて説明し、その歴史文化的意義について考えます。

参考文献:森征一・岩谷十郎編

『法と正義のイコノロジー』(慶應義塾大学出版会)

